



新森中央公園・森小路遺跡

新森
4丁目

区画整理事業と新森中央公園

大阪市の公園造成は、大正末期から昭和戦前にかけて、大阪市が市域周辺地区の農地の宅地化を推進する土地区画整理事業の中で進められた。

旭区においても、土地所有者の組合施行により、農地を対象に道路が新設・拡幅された。各地区に公園そして

宅地が整備されることになり、昭和7年(1932)市民の憩いの広場として、新森中央公園(当時は森小路公園)が現在の森小路4丁目に完成。面積は8,809㎡、園内には藤棚、砂場、水飲み場、便所などが整備された。

公園愛護会の誕生

昭和16年(1941)太平洋戦争が勃発すると、次第に物資の窮乏と流通が混迷の様を呈するといった世情になり、戦時中の食糧難を補うため、付近住民の人々により公園は菜園化し、敗戦後は虚脱状態の中であって誰ひとり公園を顧みる者もなく荒れるにまかせていた。

そのような状況の中、いち早く戦後復興を願う地元市会議員と地域住民の協働により、昭和25年(1950)名称が新森小路公園と改められるのと同時に、全市の愛護会の草分けとして新森小路公園愛護会が誕生した。

| 時期 | 主な公園愛護会の事業 |
|-------------|---|
| 昭和28年(1953) | 盆踊り、素人のど自慢、また園内に青空スクリーンを設置しての映画会を開催。 |
| 昭和29年(1954) | 植木市、公園祭りを実施。近隣の清水小学校、新森小路小学校、旭東中学校の参画による有志舞踏が演じられた。 |
| 昭和30年(1955) | 初代の噴水池が竣工し、動物園よりガチョウ2羽などが寄贈された。 |
| 昭和32年(1957) | 大阪テレビより園内にテレビ(当時は白黒)が設置される。 |

新森中央公園に改称

昭和46年(1971)新森小路公園から新森中央公園に改称。昭和56年(1981)自動放送設備付きの時計台が新設され、翌年には地域の集会場を建設するため児童館が無くなり、昭和58年(1983)に跡地の南西角に新森会館が竣工。同年公園東側に道端広場とゆずり葉の道が完成した。昭和62年(1987)には、永年にわたり地域住民に親しまれてきた噴水池が大改造され、周辺も装いを新たに現在の公園の姿となっている。



昔の新森中央公園

当時の写真



新森地区公園愛護会公園祭り
於新森中央公園

森小路遺跡

公園内には現在、森小路遺跡の石碑が建立されている。これは昭和6年(1931)この辺りで弥生式土器や石器が発見されて遺跡の存在が明らかになり、当地が弥生時代の代表的な集落遺跡であったことが判明したからである。

当時大阪平野に広がっていた河内潟という内海の中の微高地に位置し、その範囲は新森中央公園を中心に半径300~400mにわたると考えられている。



新森中央公園の碑



森小路遺跡の主な調査地点

八幡大神宮

清水
3丁目



不焼宮(やけずのみや 縁起)

鎮座 大阪市旭区清水三丁目二十番十九号
御祭神 八幡大神
春日大神
蛭子大神

由緒

天智天皇(661~671)の頃、現在地の辺りに藤原氏が春日大神を産土神として祀ったのが始まりといわれている。

別名を「不焼宮」といわれている。これは建武・延元(1334~1339)の頃、浄土宗本山来迎寺の開祖誠阿上人が師法明上人の遺命を受け、男山八幡宮の宝物を授かって、北河内佐太に寺院を建立するために帰る途中、これをねたむ法明上人の弟子達に追われて当宮に身を隠したが、見つけ出されて火を放たれた。

しかし、火はたちまちにして消えてしまい、追ってきた弟子達は誠阿上人の徳に接し、ついには上人に帰依したと

いわれている。以来、「不焼宮」と称されるようになった。

その後、誠阿上人は、佐太に来迎寺を建立し、当時の保護にむくいる為、男山八幡宮の御分霊を当宮に奉祀したのが、八幡大神を御祭神とした由来である。この縁により来迎寺の住職の交代毎に当社に来拝するのを例とし現在も続く。

数年後、疫病の流行にて多数の村民が死亡し、誠阿上人に悪病退散の加持祈禱を乞いその靈験により村民の病が平癒したので、従来の主神を相殿として八幡大神を主神とした。

八幡大神宮 (はちまんだいじんぐう)

かつて馬場村の集落北端 字榎並に鎮座し、応神天皇・春日大神・蛭子大神を祀る。旧村社。

「摂津志」には「三社神祠」とみえ、馬場・般若寺・別所・上辻の鎮守。

境内は四百余坪にて老楠老榎が生い茂り社頭をおおう。本殿の他に幣殿・拝殿・御輿庫を存す。

本殿は室町末期の手法を蛙股・肘木・斗に残し彩色は稚拙なるも最高の技法を用いている。

尚、五輪塔一部、徳川初期石灯籠を残す。例祭は九月十五日 佐太来迎寺より貫主以下参拝し、神仏合体の祭典をなす。

夏祭(7月第2土・日曜日)

秋祭(9月第2土・日曜日)

現在、例祭と夏祭の斎行は第二日曜日。

※上記日程は変更となる場合があります。



八幡大神宮 本殿



八幡大神宮「宮入り木遣り音頭」